

本内容に関する問合せ先： 管理部広報課 TEL: 044-288-5095 * photo by Mingqun Huo (ACAP職員) *



夏といえば虫の季節ですね！

カブトムシやクワガタなど、夏を盛り上げる虫に対して、蚊やハエ、ゴキブリなどには辟易…。そんな彼らとは、どうやって付き合えば良いのでしょうか？家庭でできる対策について、ポイントを紹介します。

家庭で
できる
虫の防除

ポイント①【家の中への侵入を防ごう！】

▶窓を開ける時は網戸を閉めましょう。侵入を物理的に防ぐことができます。

ポイント②【繁殖するのを防ごう！】

▶屋外にある植木鉢の皿、じょうろに溜まった水などからは、蚊の幼虫であるボウフラが発生します。気が付いたら捨てましょう。



ポイント①【家の中への侵入を防ごう！】

▶窓を開ける時は網戸を閉めましょう。侵入を物理的に防ぐことができます。

ポイント②【生ごみを放置しないようにしましょう！】

▶台所で発生した生ごみは密閉して処分し、餌となるものへ簡単にアクセスできないようにしましょう。



ポイント①【隠れる場所を減らそう！】

▶身の回りは整理整頓して、隠れ場所が少なくなるようにしましょう。

ポイント②【食べ物や生ごみを放置しないようにしましょう！】

▶お菓子や食材などは密閉して保存しましょう。また、台所で発生した生ごみも密閉して処分し、餌となるものへ簡単にアクセスできないようにしましょう。



環境衛生業務のご担当者様へ

衛生管理講習会を開催しています。日環センターで飼育する試料を使った衛生害虫講習など、実践向きの講習を行っていますので、ご興味ありましたらお問い合わせください。*最終ページでも紹介



災害対応支援環境大臣表彰を受賞しました

本表彰は、大規模自然災害発災時において被災地支援活動に尽力した団体等に対して贈られるもので、6月25日に環境省で授与式が行われました。日環センターは、令和6年能登半島地震に際し災害廃棄物の処理等に係る人的支援を行い、この支援活動を評価いただきました。



<理事長よりひとこと>

この度は荣誉ある表彰を賜り誠にありがとうございます。2024年元旦、災害の恐怖を改めて意識する日になりました。我々日本環境衛生センターからも職員が駆け付け、廃棄物処理等の支援に励みました。いざという時のための事前準備や、計画づくりの重要性が再確認されたところです。私どもも、廃棄物の専門家集団として、環境省のご指導をいただきながら、全国各地の取り組みが進むよう、引き続き応援してまいります。

災害廃棄物の処理訓練を支援しています

7月はトカラ列島で地震が頻発し、怖い思いをされた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。各自治体は災害発生に備えて訓練を行っています。日環センターでは自治体向けに、災害後に発生する廃棄物を処理するための訓練を企画・運営しています。5、6月に開催した本訓練の様子をご紹介します。



竹原市



三次市



広島県内での令和7年度災害廃棄物処理に係る訓練等実施業務の様子です。40名程度が参加し、模擬訓練やワークショップ等を行いました。

山形県での令和7年度災害廃棄物仮置場設置訓練企画運營業務の様子です。県や自治体の担当者、廃棄物処理事業者86名が参加し、被災で車両が使えないことを想定し、リヤカーでの持ち込み対応訓練を行いました。

日環センターでは、災害廃棄物処理に関する技術支援から避難所の衛生対策等の人材育成まで、大規模災害時の生活環境への対応について支援を行っています。

幅広い実績をもつ専門スタッフが地方自治体の皆さまの課題について対応します。

詳細はこちらから →



避難所の衛生対策



災害廃棄物処理



国際活動

令和7年度我が国循環産業海外展開事業化促進のための研修企画・運営

今年度は計6回の研修を予定しています。第1回は7/28-8/1でバングラデシュ・チョットグラム市の幹部、地方行政・農村開発・協同組合省地方行政局（LGD）を招聘して訪日研修を実施予定です。チョットグラム市への廃棄物発電導入を踏まえ、収集・中間処理・最終処分まで統合的な廃棄物処理について学んでいただきます。

研修実施計画（予定）

1. バングラデシュ（訪日） 7月28日～8月1日
2. 廃棄物発電及び3R推進（オンライン）9月1日～5日
3. 最終処分場改善及び3R推進（オンライン）10月20日～24日
4. インドネシア（訪日）11月10日～14日
5. マレーシア（KPKT）（訪日）2026年12月1日～5日
6. フィリピン（訪日）2026年1月12日～16日

イーエーネット

EANETのネットワークセンター（NC）活動

EANETとは東アジア酸性雨モニタリングネットワークの略称で、日環センターアジア大気汚染研究センター（ACAP）がNCに指定されています。

今回は、参加国を対象に行っている技術支援と研修プログラムを2つご紹介します。

1. Fellowship for Building Leadership in Atmospheric Environment and Air Quality Management in East Asia in 2025

（東アジアにおける大気環境及び大気質管理のためのリーダーシップ育成事業）

東アジアの大気環境政策・研究をリードしていく行政官・研究者を育成するため、中国・上海の復旦大学およびクリーン・エア・アジアと協力して実施するフェロウシッププログラムです。本プログラムは、EANET参加国、特に発展途上国の若手行政官や研究者の研究能力を強化することを目的としています。月1回程度のオンライン会議と1か月の現地研修（日本@ACAP、中国@復旦大学それぞれで半月程度）を行います。

- 参加国：インドネシア、ラオス、マレーシア、モンゴル、ベトナムから各1名
- 目的：東アジアの大気環境政策・研究をリードしていく行政官・研究者を育成

2. Technical and Training and Capacity Building Program, Session 1-2025

（2025年の韓国国立環境研究院(NIER)の技術研修(TNT)プロジェクトと協力した能力向上プログラム）

韓国国立環境研究院（NIER）の技術研修（TNT）プログラムとEANET能力開発プログラムは、2023年から協力して、EANET参加国に酸性沈着と大気質管理に関する研修を共同で実施しています。

- 参加国：カンボジア、マレーシア、モンゴル、ラオスから各1名
- 目的：①モニタリングの基礎知識・技術の習得
②データ信頼性のためのQA/QC（品質管理質保証）の習得



アジア大気汚染研究センター（新潟市）のお隣の長岡市では、毎年日本三大花火大会の長岡まつり大花火大会を開催されています。今年度は8月2日～3日です。

* 写真は職員のMingqun Huoさん撮影です *

Pick up news



7月10日-11日、環境省が主催し新潟県で開催された「第12回大気汚染に関する日中韓三カ国政策対話」(TPDAP)に、ACAPの大原所長が参加しました(右から11番目)。日中韓の政策担当者及び有識者が集い今後の東アジア地域の大气汚染の課題と対策の方向性等について議論しました。

7月24日、令和7年度長野廃棄物処理技術研究協議会 北信ブロックし尿部会研修会定期総会が開催され、環境工学第二部岡崎次長が「し尿・汚泥再生処理の近年の動向」というテーマで講演しました。



Information

— 各種研修の申込受付中です —

■排出事業者のための産業廃棄物等実務管理者講習(中級編)

- ・開催日 12月17日、2026年2月4日
- ・内容 実務担当者が日々直面する複雑な判断事象や課題に焦点を当て、具体的な事例と環境省通知を基に実践的な知識を提供します。「建設業関係」と「建設業以外(製造業・サービス業)」に分けて開催。
- ・受講形式 オンライン

■令和7年度土壌汚染対策法に基づく技術管理者の更新講習

対象：令和7年11月から令和9年1月の間に技術管理者証の有効期間が満了する方

- ・開催日 9月17日から主要都市で対面開催されるほか、WEBでの受講が可能です。
- ・詳細は日環センターHPトップページをご覧ください、

■一般廃棄物(ごみ)実務管理者講習

10月以降のお申込みがスタートしました！
 受講を検討中の方は日環センターHPをご覧ください。
 *主要都市にて好評開催中です。

講習会日程/書籍販売

廃棄物関連講習会



生活衛生関連講習会



石綿関連講習会



書籍販売



環境衛生講習のご紹介

5月23日-24日・25日-26日 ペストコントロール技術者養成講座(第43期)・スクーリング
 添削問題による学習や実際に衛生害虫に触れていただき実現場で活用できる知識を実習形式により会得していただきました。各日程、23名・24名が参加。

6月11日-13日 第39回ペストロジー実習講座
 実際に衛生害虫に触れ、現場で活用できる知識を会得していただきました。自治体の衛生担当者32名が参加。

7月28日 第13回保健所環境衛生監視員講座
 「水の衛生」にスポットを当て、水道法と水道行政の歴史、PFASと水問題、給排水設備の基礎に関連する話題について、外部講師らを招へいし開催。



害虫講習の様子。一人一人試料や顕微鏡が用意されます。